



# 絆

教育目標「気概にあふれ主体的に考え行動する生徒」

## ～小さな学校の大きな誇り～

花巻市立湯口中学校

校報 No. 4

令和7年4月17日

文責：校長（菊池）

## 伝統の継承そして全校の団結へ

先週の8日（火）、9日（水）、11日（金）の3日間に1年歌詞指導、今週の15日（火）、16日（水）に応援練習、そして、17日（木）に応援団結団式が体育館で行われました。



1年生応援歌指導、応援練習のねらいは以下のとおりで、応援団の運営のもと、それぞれの練習は進められました。

《ねらい》

- （1）新入生に応援の仕方を覚えさせ、全校が規律と活気のある応援活動ができるようにする。
- （2）上級生が下級生に模範を示し、一体となって活動することで、湯口中生としての自覚や望ましい生活態度の土台を養う。
- （3）応援団長を含む、新2・3年リーダーが中心となり新入生を指導することで、リーダー個々のリーダーとしての資質を向上させる。

最初の1年生の歌詞指導は、主に①立ち方指導・返事指導、②声出し・エール練習、③校歌、④壮行歌の指導が行われました。できるだけファイルの歌詞を見ないで歌えるよう努力する姿が見られました。

応援練習では、駅伝練習参加生徒以外の2・3年生も加わり、エール、校歌、壮行歌を最初は応援団と一緒に、次には応援団なしの全校で練習しました。さすが、先輩。声量の違いに1年生も大いに刺激を受け、声量がアップしていました。

そして、これまでの練習のまとめとして、以下2つのねらいを上記のねらいに加えて、応援団結団式が開催されました。

- （4）新入生が歌詞指導の成果を発表する場とする。
- （5）全校で応援活動に取り組むことで、体育祭に向けての意欲を高めると共に、全校の団結を深める。

一連の応援練習は、応援団の的確な指揮のもと終始整然と行われ、つないできた伝統の重さを感じるとともに、全校が応援で一つになったと感じる行事となりました。

1年生も緊張の連続で、精神的に疲れたと思いますが、湯口中生としての第一関門はクリアしたというところでしょうか。

### 【次 第】

- （1）開会の言葉
- （2）応援団長から
- （3）1年生応援披露  
①エール ②壮行歌 ③校歌
- （4）評価
- （5）全校での応援  
①エール ②壮行歌 ③校歌
- （6）先生から
- （7）閉会の言葉

また、応援練習を指揮した応援団は、一人一人のきびきびとした所作、大きな声量による指示・応援指揮が大変立派でした。特に眞佳さんの司会進行が言葉の明瞭さ、声量、メリハリ等、抜群に良かったと私は思いました。そのような応援団の姿勢があったからこそ、全校生徒は「自分たちもやらねば」という気持ちになることができたのだと思います。



<応援団>

団長：平賀郁斗（3A） 副団長：筑後奏真（3A）、畠山愛瑠（3A）、畠山眞佳（3A）

団員：中村理雄（3A）、高橋慶多（2A）、齊藤悠太（2A）、高野橋なつめ（2A）、斎藤 絵（2A）

## 明日、入部届提出

小学校との大きな違いの中学校の部活動ですが、10日（木）の部見学、そして、15日（火）～17日（木）までの3日間の仮入部を経て、明日、入部する部を決めるという段階になりました。

入学前から入る部を決めていた人、部見学・仮入部を通して決めた人と思いますが、決めたからには3年間続けてほしいと思います（なお、転退部の相談には随時応じます）。なぜなら、これから生きていくうえで必要な資質や能力の育成のために意義ある活動であるからです。

○部活動は、生徒が自主的、自発的に活動する中で、それぞれの個性や能力を伸ばしたり、社会性や人間性を育む様々な経験を積んだり、友人との関係を深めたりする等、教育活動の一環として行う。

<湯口中学校 令和7年度学校の部活動にかかる活動方針より>

